

放課後クラブおリーぶ自己評価表

令和6年3月

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制の整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・指導訓練室等スペースは適切である。利用者の特性や状況に応じて、パーティションやゲートで環境設定し安全に過ごせるよう設定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・適切である。
	③	事業所は設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・バリアフリーではないが滑り止めシートなど安全な取り組みを行っている。
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・職員それぞれの立場から、支援の効果を評価し、今後の目標設定を検討する支援会議に参画している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け評価結果をホームページで公開している。 ・保護者に意見を伺い改善している。 ・送迎時間等、調整を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・自己評価結果表をホームページで公開している。 ・集計結果を保護者様へお渡ししている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者による外部評価は行っていないが、検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・確保している。 ・東区発達支援ネットワーク会議や、りらくまカフェ等、東区管内の学校と情報交換会に参加。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・支援日報を作成しアセスメントを行っている。 ・児童の特性を考慮した上で、客観的に課題や支援について分析し、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・発達検査等の結果を把握し、支援計画作成や支援に活かしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員で活動内容の検討をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節の行事や提供時間に応じ工夫している。 ・子どもの特性等を考慮し、職員間で話し合い立案している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・活動内容や利用時間に応じて設定し支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児童の特性に応じ、個別・小集団・集団活動を組み合わせ計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・昼礼で、職員の一日の動きや担当を決め、全体の動き、個人の動きを職員間で確認し共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・必ず昼礼で、前日の振り返り情報を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・振り返り検証が出来るよう、支援日報へ具体的に細かく記録し改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に一度(保護者、相談支援事業所等)情報共有連携して、見直しの必要性に応じて判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・創作活動や日常生活動作を組み合わせ支援している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理者や担当職員が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校との情報共有については送迎時に担任の先生から申し送りなどで共有している。また送迎時トラブルについても連絡調整を適切に行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在のところ、ハード的に医療的ケアが必要な児童の受け入れは難しいが今後検討していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・担当者会議を行い、相談支援事業所から頂いた情報を元に支援内容を検討し、必要に応じて就学前に利用の児童発達支援等と、共有に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・相談支援事業所へ、これまでの支援内容等を提供し情報共有に努めている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・児童発達支援センター等の研修会に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・児童館等での交流の場で活動する機会をつ
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳でのやり取りや、送迎時にその日の様子を口頭で伝え、発達の状況や課題について共通理解をしている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・保護者からの相談に応じて、家庭での対応方法アドバイスを行っている。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や契約更新時に、重要事項説明や契約書の説明をしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者様から相談等あった場合は個別に対応し、必要に応じて助言と支援を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・今年度は保護者会を開催予定でしたが、前日に大雨警報発令の為、中止となった。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情があった場合、管理者が迅速に対応し解決策や再発防止に努めている
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年に3回会報(おりーぶ新聞)発行し、情報発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			・守秘義務の厳守については運営規定の内容を定期的に確認し徹底するよう努めている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・意思の疎通や情報伝達については、連絡帳・メール・など活用し視覚的支援をしている。
㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・地域住民を招待できるような行事を検討する。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・職員間では周知している。保護者への周知は不十分なため検討する。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・火災・地震・不審者対応の訓練を定期的に行っている。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・定期的に勉強会を行っている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・やむを得ず身体拘束が必要な子どもの保護者には、理由や方法を十分説明し同意を得た上で計画に記載している。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者からの情報を共有し対応している。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、その都度職員で話し合い、対処法を検討し共有している。